



大砂土中だより

はっ らっ
澆 刺 と

さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.1 平成30年 4月 9日号

新しいスタートの時

校長 小林 正美

この度、清水一司校長先生の後任として着任いたしました小林 正美（こばやし まさみ）と申します。大砂土中学校の生徒のために全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日、平成30年度第1学期始業式、続いて第70回入学式を終え、いよいよ新しい学年がスタートしました。生徒の皆さんは、今どのような気持ちを持っているでしょうか。新しいクラスで勉強を頑張ろう、部活動に打ち込んでみよう、学校行事に積極的に参加しようなど、決意を新たにしていることと思います。今は、新しいスタートの時です。この熱い思いをこれからの学校生活にぜひ生かしてください。

さて、私は学校が充実した教育活動を進めるには3つの『和』が大切だといつも考えています。1つ目は、「生徒・保護者と教職員との『和』」です。よく、学校と家庭は車の両輪にも例えられますが、生徒と保護者そして教職員がベクトルを合わせて、同じ方向に向かって手を携えていくことはとても大切だと考えています。お互いの理解と協力があってこそ、望ましい教育活動が進められるのです。

2つ目は、「生徒相互、保護者相互、教職員相互の『和』」です。生徒たちが学校生活の中で信頼し合える「友」を見つけ、助け合い、切磋琢磨し合うことは、今最も求められる教育環境だと思います。同様に保護者が相互に情報を共有し悩みを分かち合い協力し合っていくこと、教職員がチームワークをもって一致団結して教育活動にあたるのが、学校の充実・発展につながっていくものと考えています。

最後に3つ目は、「学校と地域社会との『和』」です。学校の教育活動は様々な地域の皆様のご理解とご支援を受けて初めて成立していきます。また、生徒たちも地域の多くの皆様と触れ合い、活動していくことが大きな学びとなり人間的な成長が図られていくものと思います。そして、この3つの『和』が、大きな『輪』となっていくことで、学校は充実した教育活動を展開することができ、生徒の望ましい成長が図られるのだと思います。まさに大砂土中学校は、この3つの『和』を大切に、地域や保護者の皆様の大きな支えがあったからこそ、今年70周年を迎えることができたのだと思います。

本校では、本年度も「自ら学び 考え 行動する生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、さいたま市教育委員会による「主体的・対話的で深い学び」及び「グローバル・スタディ」の研究指定校として、昨年度までの取組を礎に「進んで考える生徒の育成」の研究に取り組んでまいります。新しい学習指導要領にも示されているように、未来の社会を生き抜く子どもたちには、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けていることに加えて、思考力や判断力、表現力など、どのような時代であっても生きて働く力を身に付ける必要があります。本校では、この研究をとおして子どもたちが未来の社会を生き抜くために必要となる思考力、判断力、表現力などをさらに伸ばしていけるよう教職員一丸となって取り組んでまいります。

本校の教育活動の全ては、伝統ある大砂土中学校をこれまで応援して下さった多くの方々、そして保護者や地域の皆様のご理解とご協力によって支えられています。今年度も引き続き「全ては生徒の未来のために」を合言葉に何卒よろしくお願い申し上げます。

平成30年度 さいたま市立大砂土中学校の教育

学校教育目標 「自ら学び 考え 行動する生徒の育成」
校 訓 「^{はつらつ}澁刺と」

○めざす学校像

学ぶ喜び、教える喜びを感じる「真の学び舎としての学校」

明るい笑顔とあいさつがあふれ、生徒が生き生きと活動する「元気な学校」

家庭・地域と共に澁刺と活動する「活力あふれる学校」

○めざす生徒像

(知) かしこさ 自ら学び、進んで考える生徒

(徳) ただしさ 正しく判断し、進んで行動する生徒

(体) たくましさ ねばり強く、進んで鍛える生徒

(コ) ゆたかさ 思いやりをもち、進んで奉仕する生徒

※ (コ) …コミュニケーション